

平成 25 年 2 月度第 2 回わが街つくる会定例会議事録（通算 148 回）

日時：‘13-2-21（木）19：30～21：15

場所：平野市民センター会議室

出席者：橋本、雨宮、堀井、中井、森川、岡本、竹内、杉中、杉本、戸所、
竹吉、乾、大津市）名島、中島 以上 14 名

議事内容：（司会：森川）

1. 今日の一言（森川）

小学生の頃から演劇に親しみ、現在も市民劇団で現役の役者として頑張っている。役者歴 15 年、どっぷりと虜になっている。演劇は表現芸術であり自分の思いを伝えたり発信出来る喜びがある。劇作家の平田オリザは「芸術立国論」の中で、芸術とは「価値観の共有ではなく、すり合わせ」だと述べている。芸術にはコミュニケーション能力を高める力がある。日本は体（スポーツ）や頭（教育）だけでなく心（宗教、芸術）にもっと投資すべきだ。演劇を通して子ども達の心の豊かさを育みたい。

2. 大津市からの報告（名島）

①仮設交番、トイレの設置が完了。2 月 19 日より使用開始した。

橋上駅舎工事の起工式が 3 月 27 日 10：00 より取り行われる。

②駅前広場のレイアウトについて

レイアウト図を 2 案作成してみた。（図面による説明があった）

1 案：広場の周囲に 9m 幅の歩道を確保し、タクシー、自家用車共用の乗降場所の設置、中央部分に新たな花壇設置等が特徴

2 案：タクシーと自家用車の乗降場所を区分、中央に花壇の設置とタクシー 4 台の待機スペースの確保等が特徴。

花壇対応を含めまだ未確定であり、地元要望も加味した検討を行う。

質疑応答は以下の通り。

Q：エスカレーターの下り用は設置出来ないのか。

A：現在検討中。エスカレーターは上下のペアが原則と考えている。

Q：大津市と連絡協議会の協議の場は何時頃設定されるのか。

A：3 月中には設定する予定である。

なお、わが街からの要望については岡本私案が出されているが、これを次回の定例会で議論し、連絡協議会に提案することになった。

3. 膳所駅見学会について

2 月 22 日（金）7：30～8：30 の間、地元関係者により膳所駅の通学通勤者及び車の流れ等の状況をチェックし、大津市提示のレイアウト図を

考察して地元要望点を整理することとした。

4. プロジェクト報告（森川）

プロジェクトチーム（メンバー：森川、堀井、岡本、杉中、乾、戸所、竹吉）は昨年11月の定例会で発足し、以降1月16日、2月2日、2月19日と3回の会議を持った。議論した内容は以下の通り。

①（仮称）平野街づくり推進委員会」について

平野をよくしたいとの共通目的の下に自発的に参集する組織とし、社協を含む多様な団体個人が横に繋がるものとする。

② プロジェクトチームについて

推進委員会のコア組織として位置付け、誰でも参加出来るオープンなものとする。チームは推進委員会を立ち上げるための準備的な取り組みを行うものとし、今後の具体的な活動計画の骨格作りを行う。活動を円滑に進めるため、チーム内にコアメンバー組織を作る。

③ プロジェクトチームの活動について

当面、「平野を知る」ための活動に取り組む。具体的には平野小学校の副読本（例：私達の平野）の作成を目指し、定期的ミニコミ誌の発行に取り組む。（ミニコミ誌の集大成を副読本とする。）課題としてはネタ集め、執筆者募集、印刷費用の確保などがある。

<ネタ案>

平野の歴史、社寺、平野の施設、平野の自然、平野の団体、平野の現在等々

④ ミニコミ誌のイメージ

体裁：A3裏表、フルカラー、タイトル：例）ひらの探偵団報告、発行：隔月（7月に第1号発行を目標）、各戸配布、広告記載等

5. その他

①膳所橋上駅舎への観光案内所ブース設置要望について（雨宮）

橋上化を機会に膳所駅にも観光案内ブース設置を要望して行くため、既設の草津駅、石山駅の観光案内所の調査を行った。

<草津駅観光案内所>

スペース：2～3畳、運営：観光協会と草津市、スタッフ：6人、全員ボランティアガイド資格所有、勤務時間は9～17時、対応内容：観光案内、宿泊案内、イベント案内等多岐に渡る。

<石山駅観光案内所>

びわ湖大津観光協会所属の嘱託職員が常駐している。

観光案内所は観光客だけではなく、地域居住者にとっても各種の情報源として必要な施設であるとの認識である。膳所駅も訪問者へのPR

や学区住民の利便性向上のためには必要施設と考える。橋上化を機会に是非実現させたい。

②次回定例会の開催について

3月7日（木）19：30～、於）平野市民センター。

以上（乾）